

総力特集

「それでもまだあなたは打ち続けますか？」

感染者世界一 ワクチン・日本の悲劇

当初、感染予防とされていた新型コロナのワクチンの効果は、いつの間にか重症化予防にすり替わっていた。そして、いまでは「接種すればするほど感染する」という「悲劇」が起きている——自分と家族を守るために知っておきたいワクチンの真実を明かす。



岸田文雄首相は4回目のワクチンを打ち、その9日後に感染が確認された。



「不在」を把握するためのうろつきが、一連のケースでは逆の意味で使われている。「空き巣は捕まるリスクを小さくするために不在を狙いますが、強盗団は在宅のタイミングをあえて狙っています。繰り返し上げた上で金の在り処を聞き出すためでしょう。そして、そのためには暴力を躊躇しない連中です」(前出・櫻井氏)

犯罪の巧妙さは、捜査といふところだ。だが、今回の連続強盗団は、むしろ粗暴な手口に傾いていると言っている。この瞬間も、犯罪グループは闇の中で蠢いている。

既婚か独身か、家族構成などもまとめられています。最近では、介護施設に関するアンケート、が行われています。多額の入居費用を払う番えがあるか、といった質問も加え、子供から援助してもらえないか、といった質問も加え、家族の状況や子供の資産状況、稼きなども辛つる式に把握し、丸裸にするというわけです」(別の全国紙社会部記者)

在宅のタイミングをあえて狙う

指示役である犯罪グループはどのようにして強盗の標的を定めているのか。そこには、情報グループが作成する「ターゲットリスト」が存在する。櫻井氏が続ける。

「詐欺に引っかけやすい高齢者や、お金を貯め込んでいる資産家をリスト化したものが、犯罪グループの手に渡っているのです。これまでは、それをもとに特殊詐欺を働いていました。しかし、摘発が相次いだり、金融機関や郵便局の窓口でも防犯意識が高まって成功率が下がった。そのため、強盗に入るという直接的な手段に訴えるようになっていると考えられます」

情報グループは、リストの作成を不動産や金融資産への投資のアンケートといった名目で行っているという。「名前や住所、電話番号、年収や現金資産の有無はもちろ

今回の強盗団も、強盗を計画する指示役と、実際に強盗をする実行役が分かれているので、実行役たちはお互いに面識がないどころか、指示役の素性も知らないことが多い。そうなる、事件の全容を解明して、首謀者まで捜査が辿り着くことが難しくなる」

実際、SNSで「闇バイト」「裏バイト」と検索すると、大量の書き込みがヒットする。そういったアカウントにダイレクトメッセージを送ると、秘匿性の高いアプリでのやりとりで誘導されるといふ。今回の一連の強盗事件でも「テレグラム」というアプリが使われている。「テレグラム」は、もともととは利用者同士のやりとりをアプリのサーバー側に残さないもので、プライバシーが保護できることを売りにしている。一定時間が経つと送ったメッセージが自動で消去される機能などもあります。

しかし結果として、証拠を残したくない、という犯罪者には好都合だった。闇バイトのやりとり以外にも、薬物の売買などに使われているとされています」(前出・三上氏)

逮捕者が出ているにもかかわらず強盗事件が連続しているのも、実行犯が闇バイトで集められているからだという。「普通、捜査の手が及びそうになったら、犯罪組織は一旦実行をストップするはずだ。

プロのメンバーは昨年10〜12月にかけて東京・稲城市のほか山口県と広島県で起きた3件の強盗事件に関与している疑いがあり、関東のみならず全国に犯行が広がっている実態もありそうだ。別掲図には昨年11月以降に起きた強盗事件を挙げたが、その13件を含め、警察当局は全国で関連する事件は少なくとも25件はあるとにらんでいる。

また、昨年12月16日に、東京・渋谷の貴金属店に侵入してネックレスや指輪など約272万円相当を盗んだ容疑で逮捕された19才の少年3人のうち1人は「金に困ってインスタグラムの闇バイトに応募した」と証言。インターネット犯罪に詳しいITジャーナリストの三上洋氏が解説する。

「高収入を謳って、SNS上で闇バイト、裏バイトの募集が行われています。以前はツイッターが盛んでしたが、取り締まりが厳しくなっているうえ、ユーザーもインスタグラムに移っていったので、インスタグラムでの募集が増えている印象です」

元警視庁組織犯罪対策部の櫻井裕一氏が続ける。「振り込め詐欺などの特殊詐欺の犯人像と構図が同じです。つまり、「元締め」である犯罪組織がSNSなどを駆使して「実行犯」である受け子・出し子を集めて、犯罪を実行する形態です。

フォローする

投稿1件 フォロワー41人
闇バイト募集
稼ぎたい方DMしてください！
もちろん保証金0！！
いるのは、稼ぎたい気持ちのみ！
白からグレー色んな案件取り扱っ
DMしてください！！

SNSにあふれる闇バイト募集。

1ジもあつたという。石川県金沢市のアパートで生活していた永田容疑者。周辺住民によると、キャンプルで数十万円を稼いでいると、最近になって高級時計を数本見せびらかすようになり、「どこかで換金できないか」と漏らしていたという。

永田容疑者は、狛江の事件が発生した翌日に、東京・足立区内で逮捕された。不審なレンタカーがあるという通報を受けた警察官による職務質問を経ての逮捕だったが、このレンタカーは、狛江の事件現場付近の防犯カメラに捉えられており、永田容疑者は狛江の強盗殺人事件に關与していると考えられる。さらに、永田容疑者のスマホには、足立区内の地名に関するやりとりも残されていた。同じ足立区内で逮捕されたことと偶然ではないだろう。「犯罪グループ」からの指示で、強盗を繰り返していたことがうかがい知れるのだ。

中野区の事件の実行グループ

打てば打つほど感染する！世界中で疑われ始めたワクチンの効果

新型コロナウイルスの感染者が国内で初めて確認されてから3年。多くの国で新型コロナウイルスは「過去」になったが、日本は「現在進行形」で感染拡大が続く。

なぜ、日本ではコロナ禍が終わらないのか—その謎を解くカギが「ワクチン」だ。日本は「ワクチンの接種回数」と「感染者数」がともに世界最多の国であることを忘れてはならない。

英オックスフォード大学が各国のデータをまとめて公表している「Our World in Data」によると、日本の人口100人あたりの追加接種回数は断トツで、135.9人。これは1月18日現在で追加接種されたワクチンの総回数を総人口で割って導き出され、1人が1回以上接種している計算になる。また、1月12日時点でオミクロン株対応ワクチンの接種率が

37.5%となり、G7の中でトップだ。

本来、接種が進めば感染はストップするはず。だがWHO（世界保健機関）がまとめた統計では、日本は週間感染者数が22年11月から10週連続で世界最多を記録。今年に入ってから1月11日までの1週間は118万2322人で、2位のアメリカ（46万2994人）と2倍以上の差がある。

なぜ、世界で最もワクチンを使っていて日本が世界で最も新型コロナウイルスに感染するのか。「ずばり、ワクチンを打てば打つほど新型コロナウイルスにかかりやすくなるからです」

そう話すのは名古屋大学名誉教授で医師の小島勢二さんだ。「アメリカの『疾病対策予防センター』の研究者が33万人を調査したところ、未接種、2回、3回、4回とワクチンの接種回数が増えると、感染

率が29%、33%、38%、41%と高くなり、ワクチンを打つほど新型コロナウイルスにかかりやすくなることを示しました。実際、現時点で感染が増加しているのは、ワクチン接種を続けている一部の国だけです」

国内にも同様のデータがある。昨年9月7日に開催された厚生労働省のアドバイザリーボードの資料でも未接種より2回目接種済み、3回目接種済みの方が新規陽性者数の多い年代が続出した（8月22～28日の期間、左ページ表）。特に「65～69才」の10万人あたりの新規陽性者数は未接種が194.9人、2回目接種が584.7人と3倍近い差となった。

昨年の10月に、小島さんが都道府県別の状況を解析したところ、興味深い結果が得られたという。「ワクチンの追加接種率の上

位5位（秋田、山形、福島、長野、北海道）と下位5位（沖縄、東京、大阪、愛知、福岡）の接種率と新規感染者数を比較すると、接種率が最も高い秋田や山形は、最も低い沖縄や大阪と比較して、人口あたり2倍以上も新規感染者が発生したのです」（小島さん）

接種と感染の関係については、「感染者が増えた結果、人々がワクチンを打つ」との意見がある。だが南日本ヘルスリサーチラボ代表で医師の森田洋之さんが反論する。「実際のデータを見ると、感染の流行が始まる前にワクチン接種数が伸びています。特に3回目、4回目はワクチンを打ち始めてから感染者が増えたことが時系列から見ても明らかです」

「感染増→接種増」ではなく「接種増→感染増」という流れ



第7波では未接種者よりも接種者の方が多く感染していた年齢層が

年齢	未接種			2回目接種済み(3回目接種済みを除く)			3回目接種済み		
	新規陽性者数	未接種者数	10万人あたりの新規陽性者数	新規陽性者数	2回目接種者数	10万人あたりの新規陽性者数	新規陽性者数	3回目接種者数	10万人あたりの新規陽性者数
0-11才	11万7767	1058万0959	1113						
12-19才	1万9101	221万864	864	2万9324	324万4042	903.9	2万2502	347万7170	647.1
20-29才	2万3533	239万8235	981.3	3万9888	392万5132	1016.2	5万7389	639万9546	896.8
30-39才	2万1556	283万4187	760.6	3万6453	379万1073	961.5	6万3290	767万104	825.2
40-49才	1万7774	318万3699	558.3	3万2298	379万6609	850.7	7万9697	1137万5715	700.6
50-59才	1万1291	119万1835	947.4	1万6939	229万6826	737.5	7万6591	1327万5891	576.9
60-64才	3019	60万5852	498.3	3500	53万483	659.8	2万9996	626万1687	479
65-69才	2069	106万1712	194.9	1907	32万6124	584.7	2万5415	669万6686	379.5
70-79才	3238	85万6614	378	2548	52万7702	482.8	4万3083	1481万316	290.9
80-89才	2131	1万7673	172057.9	1847	36万889	511.8	2万5719	864万9082	297.4
90才以上	1028			781	12万1887	640.8	1万700	228万1917	468.9

22年8月22～28日のワクチン接種歴別の新規陽性者数。太字の数字は、未接種者よりも感染者数が増えた接種者群。（第98回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボードより本誌作成）

られる現象なら、4回接種後にはより顕著になると見込めます」（小島さん）
森田さんはワクチン接種直後の感染に注目する。「ワクチンを打った直後は発症予防効果が高いとされます。そうであるなら接種者が増えるほど感染者が減るはずですが、現実には接種者が増えるとともに感染者も増えている。その原因を示唆するのが「ネイチャー」誌に掲載された論文で、ワクチンを接種してから1週間ほどリンパ球の数が減るといいます。リンパ球は人間の免疫による防御の主体で、それが接種後に一時的に下がることにより、その期間は逆に感染しやすくなると考えられます」

2価ワクチンの発症予防効果は30%

国内の報道だけを見ていると気づかないが、世界各国のワクチンに対する評価は様変わりしている。

その典型例が世界に先駆け接種を進め、ワクチンの先進国と称されたイスラエルだ。「ワクチンを打っても感染抑制効果は不透明」

昨年イスラエル政府はそう表明し、4回目以降の追加接種をほとんど行わなくなった。イスラエル保健省によると、昨年12月の段階で国民の約半数が3回目接種を終えたが、

4回目は1割にとどまる。ワクチンに背を向けた国は多い。医療経済ジャーナリストの室井一辰さんが言う。

「イラクやヨルダン、リビアなど中東やアフリカ諸国で感染率が20%を下回る国はワクチンを購入していません。ウクライナとブルガリアなど東欧諸国も接種率が低い」

やはり気になるのが、接種と感染の関係だ。「一昨年5月に1日40万人を超える感染者が出たインドは昨年初めにオミクロン株のBA.1が流行しましたが、4回目接種を行わなかった。一昨年6月から8月にかけて1日の感染者数が最大6万人に達したインドネシアも同様に4回目接種を行わなかった。両国とも昨夏に登場したオミクロン変異株・BA.5の感染拡大が懸念されましたが、不思議なことに流行は起こりませんでした。そのほかの多くの国も昨年の初めからワクチンの追加接種は打ちだせず、感染者は増えていませ

ん」（小島さん）
これと対照的なのが追加接種を重ねた国だ。「一昨年まで感染者がほとんど出ず、新型コロナウイルス対策の優等生とされた台湾は追加接種を重ねることに感染者が急増し、一時的に人口比で、世界で最も感染者が多い国になりました。日本と同様に追加接種に積極的な韓国も感染者が

増えたのです」（小島さん）
新潟大学名誉教授の岡田正彦さんが指摘する。

「一昨年9月にアメリカとカナダの研究者が発表した論文によると、世界68か国でワクチン接種率が高い国ほど、人口100万人あたりの1週間の新規感染者数が多かった。いまから1年半前にワクチンと感染の関係が指摘されており、その後、同様の研究が多数発表されました」

ワクチンの基本的な効果に疑問を投げかける研究も次々と発表されている。「昨年7月に発表されたアメリカの研究では、従来のワクチンがオミクロン株に有効かどうかを調べました。その結果、ファイザーとモデルナのmRNAワクチンがオミクロン株を抑える効果は、コロナ発生当初の武漢株の20分の1以下しかないことがわかりました」（岡田さん）

今年1月1日には米紙「ウォール・ストリート・ジャーナル」が、北米などで流行中のオミクロン株亜種「XB B」は、ワクチンを繰り返し接種した人の方がかかりやすくなるとの記事を掲載した。同紙によれば、ワクチンを3回以上接種した人は、未接種者の3.4倍、2回目接種者の2.6倍感染率が高くなるという。XB Bは感染率が非常に高く、世界的な感染拡大を予想する声もあるだけに

気になるデータだ。
1月11日には、最も権威があると思われる医学雑誌「ニューイングランド・ジャーナル・オブ・メデシシ」(NEJM)に驚きの論文が掲載された。

筆者はFDA(アメリカ食品医薬品局)のワクチン諮問委員会のメンバーであるポール・オフィット氏。ウイルス学の権威であるオフィット氏はこの論文で従来型のワクチンとオミクロン株に対応する2価ワクチン(※)の効果を検証し、こう結論づけた。

「健康な若者には、2価ワクチンの追加接種は中止すべきである」

小島さんが解説する。「免疫学には『抗原原罪』という現象があります。過去に感染したウイルスと一部が同じ構造を持つ別のウイルスに感染すると、先に感染したウイルスの中和抗体は迅速に作られるものの、新しいウイルスに対する中和抗体は作られにくいというものです。つまり、2価ワクチンを接種しても、過去に感染したウイルスのタイプや最初のワクチンが

対象とした武漢株に対する中和抗体が作られる可能性があるということ。オフィット氏はこの考え方を適用して2価ワクチンの追加接種の効果が薄いと指摘し、「若い人への追加接種は必要ない」と結論づけました。

オフィット氏はアメリカの権威ある雑誌「タイム」にも登場し、「2価ワクチンは軽症のコロナの発症や感染も予防するとの謳い文句だが、それを支持する証拠はない」と断言しました。ウイルス学の第一人者によるそうした発言が「NEJM」や「タイム」という世界の一流誌に載る意味は大きい。

世界でワクチンの見直しが進む中、官民挙げて「ワクチン推し」に励むのが日本だ。オミクロン株対策として政府が推奨する2価ワクチンについて、国立感染症研究所(感染症研)は発症予防効果を71%と発表した。これに小島さんは異を唱える。

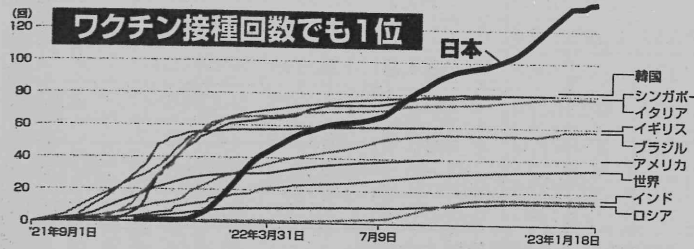
「71%はワクチン未接種者を比較対象にした『絶対対症予防効果』であり、従来のワクチン接種者を比較対象にした『相対対症予防効果』では、2価ワクチンの発症予防効果は30%です。追加接種で2価ワクチンを行った人の中には、予防効果が71%あるなら追加接種したので

あって、30%と知っていたら、思いとまった人も多いでしょう。実は感染症研は相対発症予防効果も公表していました。NHKをはじめ大手報道機関は71%という数字だけ報じました。日本のメディアは感染症研や厚生労働省の情報を垂れ流すのではなく、きちんと精査して報じてほしい」

ワクチン接種により自然免疫力が低下する

ワクチンを打つとかなりやってくるのは新型コロナウイルスだけではない。注意すべきはほかの病気のリスクも増すことだ。「コロナワクチンは人類初のmRNAワクチンで人体への影響が未知数でした。一定期間が経過し、多くの副作用が報告されています。実態は不明ですが、論文として報告されただけでも血小板減少症や心筋炎、心外膜炎、腎炎など数多くの病気をもたらすと指摘されています」(岡田さん)

「ワクチン接種後に、がんが急激に進行する『ターボがん』で実際に亡くなったケースがあります」
多数の「ワクチン死」を連想させる不吉なデータもある。厚生労働省が発表する人口動態統計によると、22年は118月だけで21年の同期間より死者数が約7万1000人増加した。同期間のコロナによる死者数は約2万1500人で約5万人はコロナと別の理由で死亡したことによる。増加ペースもますます、22年2月は前年より約1万9000人増、8月は約1万8000人増だった。



【上】グラフの数値はその日に確定した過去1週間の累積感染者数。22年11月頃から日本は感染者数が世界一に。【下】人口100人あたりのコロナワクチン追加接種回数。(ともに「Our World In Data」をもとに本誌作成)

「ワクチン接種後に、がんが急激に進行する『ターボがん』で実際に亡くなったケースがあります」
多数の「ワクチン死」を連想させる不吉なデータもある。厚生労働省が発表する人口動態統計によると、22年は118月だけで21年の同期間より死者数が約7万1000人増加した。同期間のコロナによる死者数は約2万1500人で約5万人はコロナと別の理由で死亡したことによる。増加ペースもますます、22年2月は前年より約1万9000人増、8月は約1万8000人増だった。

「ワクチン接種後に、がんが急激に進行する『ターボがん』で実際に亡くなったケースがあります」
多数の「ワクチン死」を連想させる不吉なデータもある。厚生労働省が発表する人口動態統計によると、22年は118月だけで21年の同期間より死者数が約7万1000人増加した。同期間のコロナによる死者数は約2万1500人で約5万人はコロナと別の理由で死亡したことによる。増加ペースもますます、22年2月は前年より約1万9000人増、8月は約1万8000人増だった。

「ワクチン接種後に、がんが急激に進行する『ターボがん』で実際に亡くなったケースがあります」
多数の「ワクチン死」を連想させる不吉なデータもある。厚生労働省が発表する人口動態統計によると、22年は118月だけで21年の同期間より死者数が約7万1000人増加した。同期間のコロナによる死者数は約2万1500人で約5万人はコロナと別の理由で死亡したことによる。増加ペースもますます、22年2月は前年より約1万9000人増、8月は約1万8000人増だった。

※2価ワクチンとは、従来型に由来する成分とオミクロン株に由来する成分の両方を含むワクチンのこと。日本では3回目以降のワクチンに該当。

Part 2 6人の遺族の無念 ワクチン接種死

ここに森田さんは「ワクチンの影」を見て取る。
「死者が増加した22年2月と8月はワクチンの3回目接種、4回目接種の時期と一致しま

す。実際のデータでは感染増加前に接種数が伸びており、統計的には3回目接種、4回目接種と回数を重ねるほど死者数との相関が強くなってい

ます」(森田さん)
小島さんが続ける。「ワクチンの副反応に関する論文は昨年1月の段階で1000件以上発表されています。

最近公表された多くの基礎研究や臨床研究もワクチンの追加接種のリスクを伝えます。いまもってワクチン接種を推奨するが国のコロナ対策は

再検討が必要でしょう」
ワクチンはコロナ感染やほかの病気だけでなく、ワクチン死という最悪の結末も招く。次項でその実態を見ていこう。

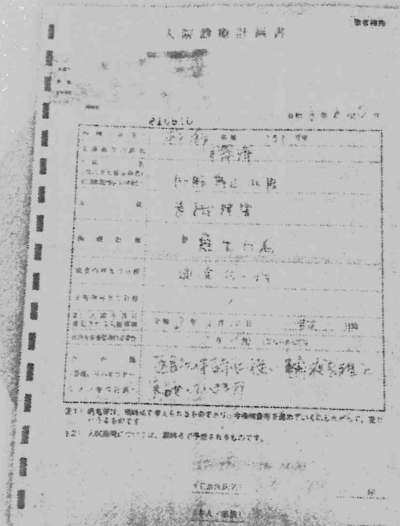
1月20日に開かれた厚労省の分科会で報告されたワクチン接種後の死亡事例は、ファイザー1751件、モデルナ211件、武田1件の計1963件だった。だが、これらはあくまでも医療機関またはワクチン製造販売業者から報告された死亡事例に過ぎない。

ワクチン接種後に死亡した遺族の相談に乗るNPO法人「駆け込み寺2020」理事の鶴川和久さんが言う。「本来、PMDA(独立行政法人医薬品医療機器総合機構)への報告は医師の義務ですが、ほとんどの医師は義務を果たしていません。ワクチ

ン接種後の死亡として公に報告された件数は氷山の一角なのです」
国が接種を推奨する中、「ワクチン接種死」は誰にでも訪れる。接種後に亡くなった人々は何のように死を迎え、遺族は何を思うのか。

山本さんの妻が1回目のファイザー製ワクチンを接種したのは21年7月15日。妻は多少の腕の痛みを感じたものの目立った副反応はなく、普段と変わらない生活を続けた。平穏な日々が一変したのは接種から4日目の朝だった。「すこしく頭痛いから、すぐに帰ってきて」

「急いで家に帰ると妻はソファでぐったりし、頭が痛くて気持ちが悪い」と言いました。ぼくが背中をさするとそれも嫌がる素ぶり。みるみる具合が悪くなった。慌てて119番しましたが、救急車が来るまでに彼女は意識がなくなり、呼びかけにも応じなくなりました」(山本さん)



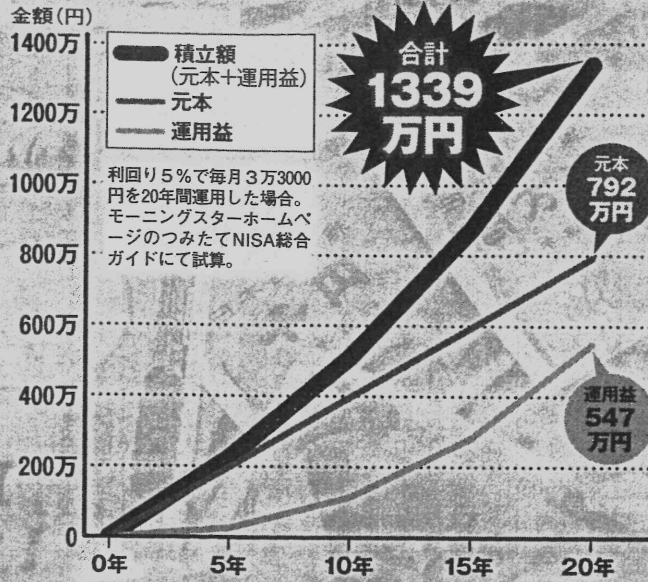
1回目のワクチン接種で死亡した小倉寛二さん(下)と搬送されたときの入院診療計画書。



「あれからちょうど一年半が経ちましたが、まだ妻の死を受け入れられません」
そう悲しみの表情で語るのは、愛知県在住の山本達也さん(仮名・53才)だ。

山本さんの妻が1回目のファイザー製ワクチンを接種したのは21年7月15日。妻は多少の腕の痛みを感じたものの目立った副反応はなく、普段と変わらない生活を続けた。平穏な日々が一変したのは接種から4日目の朝だった。「すこしく頭痛いから、すぐに帰ってきて」

20年間で約550万円増える!



制度
激変

誰でもわかる
口座開設の方法とポイント、
商品選び、積立額が

今年、本気で始めなさいも損する
つみたて
新NISA

最強攻略

1月18日、日本銀行は、これまで続けてきた金融緩和策を「修正しない」と発表。世界の主要な中央銀行が軒並み金利を上げる引き締め策を進める中、わが国もようやく政策を修正するかに思われたが、結局何もせず。据え置き*になったということだ。

*ファイナンシャルプランナーの風呂内亜矢さんが解説する。「これは、日本の景気はまだ

よくなっていない」ということ。緩和から引き締めに方向転換することはまだできなかったということでしょう。私たち生活者にとって重要なのは、短期的な変動を気にすることよりも、資産の価値がどう動いているか、理解することかもしれません。

そこで投資初心者の受け皿になるのが「つみたてNISA(少額投資非課税制度)」だ。現在のつみたてNISAは、年間40万円までの投資が最長20年間非課税で運用できる。投資先は金融庁が厳選した手数料の低い投資信託やETF(上場投資信託)に絞られていて、リスクは低い。

年間120万円までで最長5年間運用できる「一般NISA」もある。運用益が非課

税になるのはつみたてNISAと同じだが、その期間が短く、投資先は株式や投資信託と幅広い。

そして24年から開始するのが、政府肝いりの「新NISA」だ。

現行のつみたてNISAと一般NISAを2階建てにしたようなしくみで、合計の上限は1人1800万円まで。投資先は1階部分の「つみたて投資枠」がつみたてNISA、2階部分の「成長投資枠」が一般NISAの進化系だ。大きく異なるのは、非課税で運用できる期間が無期限になること。さらに、現行のNISAとは異なり、新NISAでは売却した分の非課税枠が復活し、換金した分が使い回せる。1800万円までの上限はあるが、運用できる金

日本政府が購入した「ワクチン」と「お金」

契約年月	メーカー	契約回数	合計回数・金額
'20年10月	モデルナ	5000万回	3億1400万回 7270億円
12月	アストラゼネカ	1億2000万回	
'21年1月	ファイザー	1億4400万回	2億7500万回 5120億円
5月	ファイザー	5000万回	
7月	モデルナ	7500万回	1億2000万回 4977億円
9月	ノババックス	1億5000万回	
10月	ファイザー	1億2000万回	1億7300万回 6670億円
12月	モデルナ	1800万回	
'22年2月	ファイザー	1000万回	計6230万回キャンセル 1350万回廃棄
3月	ファイザー	7500万回	
	モデルナ	7000万回	
9月	アストラゼネカ	計6230万回キャンセル	
	アストラゼネカ	1350万回廃棄	
合計	ファイザー	3億9900万回	8億8200万回 2兆4037億円
	モデルナ	2億1300万回	
	アストラゼネカ	1億2000万回	
	ノババックス	1億5000万回	

日本政府が購入したワクチンは2兆円を大きく上回る。

「特に不要とされそうなのが、オミクロン株対応ではないノババックスワクチン。政府は1億5000万回分の購入はしましたが追加接種の需要は見込めず、大半が廃棄される可能性があります」(小島さん)

過去には副反応として血栓が生じるケースが海外で報じられたアストラゼネカ製ワクチンの接種率が国内でまったく伸びず、調達した5770万回分のうち12万回の接種にとどまった。政府は5770万回分のうち約4400万回分を海外に無償で提供し、残る1350万回分を廃棄した。ノババックス製はアストラゼネカ製に次ぐ「不遇のワクチン」となりそう。

ファイザー製、モデルナ製を含めると全国的にかなりの量が廃棄されることになる。「東京23区で100万回分のワクチンが余っているとされ、人口比率で単純計算すると全国で1000万回分が余っていると考えられます。接種対象の国民をざっと1億人とすると、接種率が10%下がると1000万回分のワクチンが不要になる。3回目接種の接種率が7割、4回目接種が6割と仮定すると、7000万回分のワクチンを廃棄することになります。捨てるにも費用がかかるので国の負担が膨らみます」(室井さん)

ワクチンを廃棄する場合は自治体に報告が必要だが、抜け道もある。前出の個人クリニックの医師が語る。「報告が必要なワクチンは未使用のものだけですが、いまのファイザー製は7回分接種できますが、接種者が1人しかいなかったら残り5回分、もしくは6回分のワクチンは廃棄します。こうした、開封済み、のワクチンは報告する必要がなく、現実に廃棄するワクチンは公式の統計より多くなるはず」

政府がコロナの感染症法上の分類を5類にする方針を固める中、ワクチンの無駄遣いはいつまで続くのか。厚生省の予防接種担当者に尋ねるも、「5回目接種については情報収集中で、今後のワクチン接種がどうなるかは何も決まっています」と答えるのみ。

一方でワクチン廃棄は各国の悩みの種という。「アメリカは8200万回分、カナダは1300万回分、ニュージーランドは1000万回分のワクチンを廃棄したと報じられています。製薬会社は、売った後に廃棄されても損をしません。各国の国民が納めた血税をドブに捨てることになりました」(室井さん)

ワクチンをどれだけ捨てていくら無駄になったか。政府は明らかにする責任がある。

副反応のリスクを天秤にかけ、2回目まで接種しても3回目のワクチン接種率はまったく伸びなかった。そのため大量のワクチンが

使われないまま有効期限切れし、廃棄せざるを得ませんでした。未使用で期限切れのワクチンは感染性廃棄物として感染対策用の箱に詰めて処分施設に運び、温度850℃の焼却炉で焼却処分しただけだ。

これに慌てたのが、2・

Part1で詳述したように目を追うことにワクチンの効果に疑問符がつくようになり、若い世代を中心に「ワクチン離れ」が進んだのだ。

4兆円の予算を投じて8億8200万回分のワクチンを確保した政府だ。政府は追加接種の回数とともに有効期限を延ばし、当初6か月だったファイザー製ワクチンの有効期限は9か月、12か月、15か月と3度も延長した。モデルナ製も6か月の有効期限が7か月、9か月と延びた。

しかし、それも焼け石に水で接種率は伸びず、昨年末のTBSの報道によると、'22年に関東の1都6県で合計約314万回分のワクチンが廃棄

されたという。今後もワクチン廃棄の流れは続きそう。

「過去には副反応として血栓が生じるケースが海外で報じられたアストラゼネカ製ワクチンの接種率が国内でまったく伸びず、調達した5770万回分のうち12万回の接種にとどまった。政府は5770万回分のうち約4400万回分を海外に無償で提供し、残る1350万回分を廃棄した。ノババックス製はアストラゼネカ製に次ぐ「不遇のワクチン」となりそう。

ファイザー製、モデルナ製を含めると全国的にかなりの量が廃棄されることになる。「東京23区で100万回分のワクチンが余っているとされ、人口比率で単純計算すると全国で1000万回分が余っていると考えられます。接種対象の国民をざっと1億人とすると、接種率が10%下がると1000万回分のワクチンが不要になる。3回目接種の接種率が7割、4回目接種が6割と仮定すると、7000万回分のワクチンを廃棄することになります。捨てるにも費用がかかるので国の負担が膨らみます」(室井さん)

「報告が必要なワクチンは未使用のものだけですが、いまのファイザー製は7回分接種できますが、接種者が1人しかいなかったら残り5回分、もしくは6回分のワクチンは廃棄します。こうした、開封済み、のワクチンは報告する必要がなく、現実に廃棄するワクチンは公式の統計より多くなるはず」

政府がコロナの感染症法上の分類を5類にする方針を固める中、ワクチンの無駄遣いはいつまで続くのか。厚生省の予防接種担当者に尋ねるも、「5回目接種については情報収集中で、今後のワクチン接種がどうなるかは何も決まっています」と答えるのみ。

一方でワクチン廃棄は各国の悩みの種という。「アメリカは8200万回分、カナダは1300万回分、ニュージーランドは1000万回分のワクチンを廃棄したと報じられています。製薬会社は、売った後に廃棄されても損をしません。各国の国民が納めた血税をドブに捨てることになりました」(室井さん)

ワクチンをどれだけ捨てていくら無駄になったか。政府は明らかにする責任がある。

「今後もワクチン廃棄の流れは続きそう。」

「特に不要とされそうなのが、オミクロン株対応ではないノババックスワクチン。政府は1億5000万回分の購入はしましたが追加接種の需要は見込めず、大半が廃棄される可能性があります」(小島さん)

過去には副反応として血栓が生じるケースが海外で報じられたアストラゼネカ製ワクチンの接種率が国内でまったく伸びず、調達した5770万回分のうち12万回の接種にとどまった。政府は5770万回分のうち約4400万回分を海外に無償で提供し、残る1350万回分を廃棄した。ノババックス製はアストラゼネカ製に次ぐ「不遇のワクチン」となりそう。

ファイザー製、モデルナ製を含めると全国的にかなりの量が廃棄されることになる。「東京23区で100万回分のワクチンが余っているとされ、人口比率で単純計算すると全国で1000万回分が余っていると考えられます。接種対象の国民をざっと1億人とすると、接種率が10%下がると1000万回分のワクチンが不要になる。3回目接種の接種率が7割、4回目接種が6割と仮定すると、7000万回分のワクチンを廃棄することになります。捨てるにも費用がかかるので国の負担が膨らみます」(室井さん)

愛子 さま 21 圧倒的 **文章の天才** **短編小説** 全文公開 & 研究論文

Snow Man **黒蓮** **ラウル** **パリ** **強行ランデブー** **誓った約束**

闇バイト **連続強盗団** **資産と家族構成** **秘リスト** **あなたの家を狙う**

特別価格 **460円** **女性セブン** 2月9日号

独占 **父千葉真一の誕生日に真剣佑と郷敦が同時結婚** **秘密の花嫁**

玉置浩二 **紅白にはもう二度と出ない** **NHKにブチ切れトランプ**

ハンカチ王子 **元モデル妻がおめでた引退後が凄い** **君島十和子無念** **娘が宝塚退団**

紀子 **卒倒** **実弟のパートナーが恐喝事件で逮捕**

総力特集

打てば打つほど感染 **ワクチンの効果**

ワクチン接種死6人 **遺族の無念の告白**

税金がドブに捨てられた

ワクチン大量廃棄

世界中で **ワクチンの効果**

健康の新常識 **健康でキレイになりたいなら** **血液の量を増やさない**

名もなき家事を9割なくす方法

脳梗塞 胃がん 緑内障 **日本人の体質が招く病気** **傾向対策**

冬のねぎを極めるレシピ **オーバー50の女性医師たちが教える** **キレイを続ける食事術**

受験と人生格差 **不都合な真実** **テレビはどこへ行くのか**

緊急撮り下ろしピンナップ **KinKi Kids** **祝25周年ふたりのロングインタビュー**

今年、本気で始めなきゃ損する **ウー・ウェンさん 春節 開運ごはん** **新NISA 最強攻略**

健康の新常識 **健康でキレイになりたいなら** **血液の量を増やさない**

「血液サラサラ」の前に取り組むべきは「血液たっぷり」だった

名もなき家事を9割なくす方法

脳梗塞 胃がん 緑内障 **日本人の体質が招く病気** **傾向対策**

冬のねぎを極めるレシピ **オーバー50の女性医師たちが教える** **キレイを続ける食事術**

女性セブン 2月9日号 2023年1月26日発行・発売 第61巻第5号 毎週「日本曜日」発行・発売 第三種郵便物承認 編集人 久和麻実子 川島雅史 小学館発行 〒100-0001 東京都千代田区一ツ橋三丁目3番1号 電話(編集)03-3233-0155 85(販売)03-5281-1771 大日本印刷株式会社・印刷

吸水パッド、
なんとなく
選んでない？



吸水や消臭はもちろんけど、
肌へのやさしさまで
考えるならポイズです。
ポイズ肌ケアパッドは
菌の増殖を約1/1000に抑えるから
快適お肌がずっとつづきます。

日本製紙グループ 日本製紙クレシア株式会社 <https://www.poise.jp/>

雑誌 20922-2/9 00418 4910209220238 © Shogakukan 2023 Printed in Japan 特別価格460円 本体418円